

令和５年度 第２回大和市文化芸術振興審議会 会議要旨

- １．日 時 令和５年８月３０日（水）１０：００
- ２．出席状況 委 員 ９名（川染会長、明吉委員、小須田委員、小林心委員、小林三夫委員
古谷田委員、泉水委員、橋本委員、服部委員）
事務局 ４名（文化振興課長、文化振興係 ３名）
- ３．傍聴人 傍聴人なし
- ４．議 題
 - １ 開会
 - ２ 文化芸術の振興のための顕彰事案について
 - ３ （１）生涯学習振興補助金の選考結果について
（２）文化芸術振興基本計画[第４期]の策定に向けて
 - ４ その他
 - ５ 閉会
- ５．会議資料
 - 資料１ 令和５年度文化芸術顕彰候補者（案）について
 - 資料２ 生涯学習振興補助金（令和６年度事業分）審査結果について

【会議要旨】

- １ 開会
 - ２ 審議事項
 - 市から、「令和５年度大和市文化芸術顕彰（案）について」を説明。
― 大和市情報公開条例第７条第３号に該当するため非公開 ―
 - ３ 報告事項
 - 市から、生涯学習振興補助金（令和６年度事業分）の選考結果について説明。
- 【意見交換】
- ・ ３団体すべて、熱意をもって取り組んでいることが伝わってきた。特に、「ユニバーサル・グループ」は若い団体で、生まれ育った大和で自発的に、音楽を通じて SDGｓに取り組んでいる点が評価できる。（委員）
 - ・ 補助金は、全額基金から払っているのか。限られた基金なので大切に使ってほしい。（委員）
 - ・ 補助金の財源内訳は一般財源２分の１、基金２分の１となっている。（事務局）
 - ・ 以前は、年度あたりの補助上限額１００万円としていた。年度によって応募団体数が多いか少ないかで補助金が異なってしまう課題があった。そこで年度による不公平をなくすため、１団体あたりの上限額を２５万円に改定したと記憶している。ユニバーサル・グループの企画のような、故郷の大和でSDGｓの取り組みが始まることは評価できる。（委員）
 - ・ 大和市民オーケストラは総事業費が約９５万円、申請金額が２０万円であるが、差額の約７５万円はどのように対応しているのか。上限金額が２５万円であることは、応募者に伝わっているのか。（委員）
 - ・ 会員からの参加費で賄っていると説明があった。上限金額は、応募時に改めて説明しているが、２０万円の申請をしたいとのことだった。（事務局）

○市から、文化芸術振興基本計画[第4期]の策定に向けて説明。

【意見交換】

特になし

4 その他

○市から、令和5年度第2回文化創造拠点等運営審議会について報告。

- ・令和4年度の文化創造拠点シリウスの運営状況について、指定管理者と市が評価し、その評価が適当か審議会で議論した。(委員)
- ・都市計画審議会に参加し、シリウスについても議論したことがある。当時よりも良くなっている。(委員)
- ・施設の維持管理に関することは、「S」評価になるように取り組んでほしい。(委員)

○市から、次回の文化芸術振興審議会開催日程について説明。

○委員より、自身の活動について説明。

5 閉会